

グリーン調達

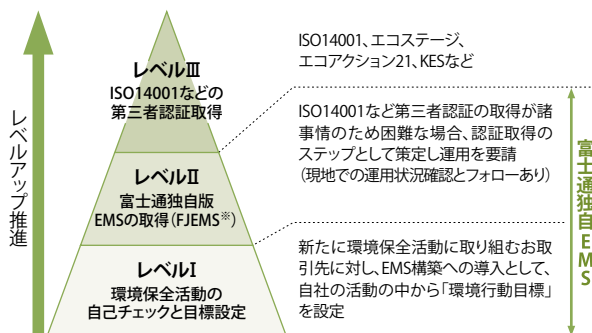
お客様に環境効率に優れた製品・サービスを提供するために、お取引先のご協力のもと、生産用部材からソフトウェア・サービスまで、グリーン調達を推進していきます。

グリーン調達の考え方

富士通グループは、地球環境に配慮した部品・材料や製品を優先して購入するグリーン調達に関して、基本的な要求事項を「富士通グループグリーン調達基準」として策定し、お取引先とともにグリーン調達活動を推進しています。

WEB 富士通グループグリーン調達基準
<http://procurement.fujitsu.com/jp/green.html>

グリーン調達におけるEMS構築



※ FJEMS
 Fujitsu group environmental management systemの略。富士通グループ独自のEMS

第5期環境行動計画の方針

富士通グループは、第5期環境行動計画におけるグリーン調達活動として、以下の2つに積極的に取り組んでいます。

お取引先の環境マネジメントシステム(EMS)の高度化

第5期環境行動計画では、お取引先の環境マネジメントシステム(EMS)の高度化を推進することを目標としています。「EMSレベルアップ説明会」などを通して、お取引先における環境負荷低減活動をさらに推進するために「第三者認証取得」や「FJEMSの構築」などEMSのレベルアップをお願いしています。

なお、2007年度は、富士通川崎工場において計6回の説明会を開催し、合計573社、656名が参加しました。

お取引先の含有化学物質管理システム(CMS)の構築

第5期環境行動計画では、お取引先の含有化学物質管理システム(CMS※1)の構築を目標としています。サプライチェーン全体における含有化学物質の適正管理のために、JGPSSI※2が作成した「製品含有化学物質管理ガイドライン」

に基づき含有化学物質管理体制の構築を要求・支援し、源流管理を重視した含有化学物質の管理強化を推進しています。

2007年度は、直接のお取引先(一次取引先)のCMS構築を促進することに加えて、新たな取り組みとして、一次取引先を通して二次取引先にも説明会への出席を要請し、源流管理に必要な管理内容をまとめた資料や専用の監査シートを提供し、サプライチェーンの上流へ向け、CMS定着への活動を推進しています。今後も、説明会および定期監査を通して源流管理の大切さを訴え、サプライチェーン全体の含有化学物質管理レベルの向上を図っていきます。

- ※1 CMS
 Chemical substances Management Systemの略
- ※2 JGPSSI
 Japan Green Procurement Survey Standardization Initiativeの略
 グリーン調達調査共通化協議会

グリーン調達活動の強化を通じた「Green Policy Innovation」の推進

2007年12月に発表した、「Green Policy Innovation(グリーンIT提供によるお客様の環境負荷低減)」(P13~参照)を実現するために、グリーン調達において、①お取引先の環境トップ技術/材料を開拓すること②環境技術動向を把握し、中長期的視点に基づく設計開発部門への一貫性を持った提案を行うことを検討しています。具体的には、「環境提案書(仮称)」をお取引先から提出していただき、その提案を社内で評価・検討し、設計開発部門へのエスカレーションを図ることで、優れた環境技術を製品に速やかに採用するためのインフラ構築を検討しています。

「Green Policy Innovation」実現のためのインフラ構築

